



木曽林務課だより

4月

林業に関わる団体が指導している南木曽中学校のシイタケの植菌作業を紹介！

南木曽中学校のシイタケ植菌、35回目！！

「南木曽町林業研究クラブ」が地元中学生に木を活かした活動を通じて、森林、林業、木材利用のことなどを少しでも理解を深めてほしいと始まった、原木を使ったシイタケ栽培（植菌作業）。「南木曽町森林組合」や町の協力を得ながら実に35年間欠かさず続いています。



県林業普及指導職員が説明する事前学習



田中林業研究クラブ会長のあいさつ

事前学習で森林の働きや恩恵などの理解を深めて、令和6年4月26日（金）に植菌作業を行いました。

始めに、南木曽林業研究クラブの田中会長さんからシイタケの好き嫌いのある生徒たちに、「この作業を通じて育てたシイタケをみんな好きになってほしい」と期待を込めたあいさつがありました。

その後、地元森林組合の皆さんをはじめ林研クラブ員、町役場職員、県林業普及指導職員の指導のもと、原木にドリルで穴を開け、駒を打ち込み、ほだ場への伏せ込みまでケガもなく行うことができました。

生徒たちが将来、林業に興味を持ち、森林に関わる仕事に携わってくれることを期待しています。



作業の説明



穴開け、駒打ち作業



伏せ込み